

清水の子



- ◇学びを広げる子
- ◇思いやりあふれる子
- ◇たくましさみなぎる子

TEL 33-7285

Eメール simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

第 1 号 令和 5 年 4 月 1 0 日 発行

令和5年度 スタート

4月7日の始業式に続き、本日10日の入学式で新入生36名を迎え、令和5年度の清水小学校が児童221名、教職員26名でスタートしました。今年度も地域・保護者の皆様のご理解とご協力を賜りますようどうぞよろしくお願い申し上げます。



さて、清水小学校では、学校教育目標「未来を創造する清水の子の育成」のもと、子どもたちの「あたま」「こころ」「からだ」を鍛えることを中心に据えて、「子どもたちの可能性を引き出す組織的で活力のある行きたい・行かせたい学校」目指し、教育活動を推進していきます。今年度は、特に以下のことについて、重点として力を入れて取り組みます。

今年度の重点

<p>【あたま】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習規律の確立と指導の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 「清水小・開成中 学習の約束」を含む清水スタンダードの徹底 ○主体的・対話的で深い学びのある授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 考え・発表・意見を交わす場の設定 ⇒ 各教科の特質に応じた言語活動の充実 ⇒ 「授業改善に向けた共通取組事項」の実践 ○ICTの日常的な活用 ○学年に応じた家庭学習の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 家庭学習（学年×10分以上+10分） ○学びの基礎となる読書活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 親子読書 10分以上の家での読書 ⇒ 貸出数 10000冊 	<p>【こころ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が考え、伝え合い、認め合う道徳科の授業 ○体験的な活動や多様な人材等を活用した道徳指導の充実 ○いじめ対応ガイドブック・支援ツール「コンパス」を踏まえた取組の充実 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ なかよし集会等の児童会の主体的活動 ○異学年交流の場の設定 ○あいさつの重点指導 ○不登校、問題行動の組織的な対応 	<p>【からだ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意図的・効果的な体づくり <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 運動量の確保とねらいを明確にした体育科授業の改善 ⇒ 新体カテストのデータ分析による取組の工夫 ⇒ 日常的な運動機械の場の設定 ○発達段階に即した健康教育の推進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 手洗いの習慣化など健康保持に関する指導の推進 ⇒ アウトメディアの推進
<p>【特別支援教育】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○組織的な校内支援体制の確立 ○一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導と支援の工夫 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ 個別的教育支援計画と個別的教育指導計画の作成と活用 <p style="text-align: right;">○組織的・計画的な交流・共同学習の推進</p>		
<p>【地域・保護者との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の推進 ○学校教育エリア会議による小中連携の強化 ○積極的な情報発信 ○地域教育力の積極的活用 ○学校評価の中間評価による検証改善サイクルの確立 	<p>【働き方改革の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校務支援システム等を活用した校務の効率化 ○計画的な会議の運営や学校行事等の見直し ○「Road」を活用した組織的な取組の推進 	
<p>【教員の人材育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○日常の授業改善を第一とした校内研究の推進（全教員の計画的な授業公開） ○若手教員・ミドルリーダーの育成のための校内研修の充実 ○学年主任や部長等を中核とした校内組織体制の確立 ○北海道における教員育成指標の活用したキャリアプランへの指導助言 		

また、昨年度同様、「さくらメール」等を活用し、学校の様子を保護者の皆様、地域の皆様にお知らせしていきます。